

企業向けサービス価格指数・2015年基準改定の概要

日本銀行 調査統計局 畑山優大

日本銀行 調査統計局 柵木雄介

日本銀行は、今般、企業向けサービス価格指数の2015年基準改定（2010年基準指数から2015年基準指数への移行）を実施しました。

2015年基準改定における見直しのポイントは、主に3点です。第一に、情報通信技術の高度化など、経済・産業構造の変化を反映するために、新たなサービスの取り込みを行いました。第二に、指数精度改善に向けて、品質調整方法や価格調査方法の見直しを行いました。第三に、政府の統計改革に対応し、SNA統計などのデフレーターとしてのニーズを充足するために、卸売サービス、知的財産ライセンスなどの価格に関する調査を開始しました。

この基準改定の結果、企業向けサービス価格指数の採用カバレッジは上昇し、調査価格数も増加しました。これは、経済・産業構造の変化への対応や、国民経済計算などのデフレーター・ニーズへの対応の観点から、これまで調査対象外であったサービスを取り込んだことによるものです。

2015年基準の総平均指数の指数水準は、2010年基準指数と比べて、2017年後半以降、幾分上振れました。前年比でも、2017年後半から2018年中を中心に、多くの月で幾分上振れています。近年におけるサービス業のデジタル化を反映すべく、主としてインターネット関連サービスの価格調査を拡充したことなどが、この上振れに寄与しています。